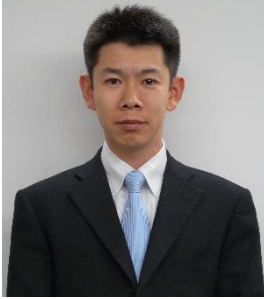


10月24日(火) 15:15-17:30

セッションチェアマン： 松下 晋司(株)産業タイムズ社・戸所 義博(イーセップ(株))

◆ 中国・印度の半導体産業はどうか？ ～その現在地と展望～



株式会社産業タイムズ社
取締役副社長
電子デバイス産業新聞 特別編集委員
津村 明宏

[講演要旨]

世界で経済のデカップリングが進むなか、それぞれに自国で半導体・FPD 産業の強化を図る中国とインド。本セッションでは、半導体・FPD 産業の世界情勢を踏まえつつ、中国とインドの半導体・FPD 産業の現在地と今後を解説・展望する。

[講演者プロフィール]

1995年3月に関西大学経済学部卒。1999年3月(株)産業タイムズ社に入社。電子デバイス業界の専門紙である電子デバイス産業新聞(旧・半導体産業新聞)の記者として、2007年より副編集長、2009年12月より編集長。2021年7月より副社長兼特別編集委員。

◆ 中国デリスキングに悩む韓国半導体



株式会社産業タイムズ社
ソウル支局長
嚴 在漢

[講演要旨]

米国を中心とする中国デリスキング(リスク低減)は、事実上、中国を排除するグローバル・サプライチェーンの見直しといえよう。米国は半導体法(CHIPS4)やIRA(インフレ抑制法)などを通して、徹底的な中国包囲網を強めている。米中のいずれかを選択するべく韓国は、ぎりぎりの綱渡り経済外交を展開するものの、結果的にはアメリカが色濃くなっている。そうした厳しい状況下、サムスンをはじめとする関連メーカーのビジネス戦略を分析する。

[講演者プロフィール]

1988年韓国外国語大学中国語科卒、93年東京国際大学大学院国際関係学科修士号取得、アジア経済研究所を経て95年産業タイムズ社入局、97～2006年韓国・中国特派員、06年～ソウル特派員、12年～ソウル支局長、現職。著書「韓国先端産業最前線」(2021年発行)など。

※本講演に興味を持たれた方は、こちらの講演もご覧になっています。

【E-1】 大学セッション(無料)マテリアル先端リサーチインフラ

【E-2】 ChatGPT の社会インパクト